第2期「ポストコロナの未来シナリオと戦略プラン構築」講座

あらゆる産業にコロナ禍がもたらした影響は図り知れず、収束までには年単位の月日を要すると考えられ、企業社会や日常生活における「新常態」が長期的な定着の兆しを見せています。WHOのパンデミック宣言から約半年が経過し、これまでのウィズコロナ下における短期的止血措置(レスポンス)、中期的回復措置(リカバリー)への注力から、ポストコロナの「新常態」に向けた事業変革・組織変革(リニューアル)にいかに取り組むか。今がまさに、未来の雌雄を決する転換点ともいえます。「自社業界がどのような『新常態』を迎えるのか」「自社が今取り組むべき事業変革は何か」「自社が目指すべき未来の姿は何か」など、本質的な経営課題にどのような解を見出すのか、顧客、従業員、すべてのステークホルダーが注目しています。そこでいま企業に求められていることは、この外部環境変化を構造的・論理的に読み解いて、新常態を具体的に洞察し、目指す事業変革活動の方向性を定めてスピーディに実践し続けることです。

経団連事業サービスは、本年7月、不確実性を取り入れた未来洞察手法であるシナリオプランニングを用いて、企業のポストコロナの未来シナリオ策定を支援する講座を開設しました。第1期講座に参加された9社は、現在ポストコロナの未来洞察を終え、経営陣への提言作りに取り組んでおりますが、その第1期が大変ご好評であったことから、このたび第2期講座を開催することとしました。第1期同様、未来からのバックキャストで見出したあるべき企業活動の実践に向けて自走できる体制づくりをサポートいたします。

- 1. ねらい 講義および個社別コーチングを通じて自社業界のリアルなポストコロナシナリオを洞察し、自社が取るべき戦略プランを策定する。 その上で、今後の変化動向のモニター体制と必要な意思決定タイミング、戦略オプションをロードマップにまとめ、自走可能な体制構築の指針とする。
- 2.対象 コロナ禍下で企業活動の抜本的な見直し、変革を追求している企業 ※各社複数名(最大4名/部署・職種は問いません)によるチームで の参加
- 3. 参加費 一社(最大4名)につき880,000円(800,000円+10%消費税80,000円)
- 4. 開催時期・場所〈集合セッション4回+個社別コーチング2回〉
 - ※プログラム概要は別紙ご参照
 - ※会場:集合セッションは経団連会館または御茶ノ水ソラシティカンファレンス(新御茶ノ水駅直結)にて、個社別コーチングはオンライン講義のハイブリッド方式。但し、コロナ感染症の状況に応じて、オンライン開催が増える可能性があります。

日程	集合 セッション / 個社別コーチング
11月17日 (火)	セッション1
9:30~18:00	分析手法理解とテーマ設定
11月26日 (木)	個社別コーチング
13:30~18:30	(左記のうち1時間、オンラインで実施)
12月16日 (水)	セッション 2
9:30~18:00	ポストコロナの業界シナリオ構築
1月13日 (水)	個社別コーチング
8:00~12:00	(左記のうち1時間、オンラインで実施)
1月22日(金)	セッション3
9:30~18:00	ロードマップとアクションプラン策定
2月26日(金)	セッション 4
13:00~17:00	状況検証とフォローアップ

自主活 企業内での検討・実践

5. 講 師

松岡 泰之(有限会社ボナ・ヴィータ 戦略コンサルタント)



【略歴】東京大学理学部物理学科卒業。東芝にて半導体の研究開発に従事後、芸能界を目指す若者のキャリア支援と地方創生とをかけ合わせた「劇場型テーマパーク」のビジネスを構築し、人材採用・育成、戦略立案・マーケティング、サービス開発、CSR戦略などを統括。累計来場者は50万人を超える。その後、コンサルティング会社を経て2018年よりボナ・ヴィータに参画、企業の戦略コンサルティングや人材育成に従事。兵庫県播磨地方では一般社団法人やNPO法人の経営メンバーとして地方創生活動にも従事。BBT(ビジネス・ブレークスルー)大学院・企業内起業家育成プログラムプランナー、経団連事業サービス主催「イントレプレナー養成講座」講師。

(ゲスト講演)

菅野 誠二(有限会社ボナ・ヴィータ 代表取締役)



【略歴】早稲田大学法学部卒業。IMD経営学大学院MBA。ネスレ日本にて営業、ブランド担当者、マッキンゼーにて大手企業へのコンサルティング、ブエナビスタ(ディズニーのビデオ部門)にてマーケティングディレクターを務める。現在、ボナ・ヴィータを設立しベンチャー企業を支援する傍ら、コンサルティングとアクションラーニングを通じた企業変革に携わっている。経団連事業サービス主催の課長クラス向け年間研修講座「経団連グリーンフォーラム」 マーケティング戦略、コミュニケーションスキル講師。「イントレプレナー養成講座」監修・講師。BBT(ビジネス・ブレークスルー)大学教授。

※11月9日(月)までに、参加申込書にてお申込みください。

受付完了次第、ご連絡担当者様宛に請求書をご送付いたします。

(参加申込締切日翌日〈11/10〉以降のキャンセルにつきましては、参加費の全額をいただきます。)

※先着にて4~5社となり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

【本件お問い合わせ先】 経団連事業サービス 研修グループ

電話: 03-6741-0042 FAX: 03-6741-0052 Email: pco@keidanren-jigyoservice.or.jp

「ポストコロナの未来シナリオと戦略プラン構築」講座 ~自社業界のポストコロナをバックキャストで洞察する実践型プロジェクト~

- シナリオプランニングの手法を用いて、コロナ禍が生んだ不確実性を洞察し自社業界の未来パターンを想定、自社のアクションを検討する
- 扱うテーマは参加企業のリアルテーマとし、数ヶ月~1年のリカバリープランから5年~10年の変革プランまで、参加企業の問題意識に合わせて自らテーマを設定
- 期間中、講師の並走のもと実務として進行していただくプロジェクト形式
- 2コース(1コース:4-5社)を募集。各社複数名(最大4名/部署・職種は問いません)によるチームでの参加

■ 2コース(1コース:4-5社)を募集。各社複数名(最大4名/部署・職種は問いません)によるチームでの参加							
セッション1		セッション2		セッション3		セッション4	
分析手法理解とテーマ	設定	ポストコロナの業界シナリス	オ構築	ロードマップとアクションフ	プラン策定	状況検証とフォローアップ	
集合研修 (御茶ノ水リラシティOrオンライン) 【AM】 ・ イントロダクション - 危機意識の共有 - VUCAとコロナ、二重の加速装置の行き着(大・ボストコロナのニューノーマルからパックキャストする ・ 未来シナリオ講義1 - VUCA環境下の思考法 【PM】 ・ 未来シナリオ講義2 - シナリオブランニングの手法2 - シナリオブランニングの手法3 - VUCAとコロナを同時に捉える。 ・ テーマ設定 - 自社のビジネススコープの言語化(年代・地理・業界) - 自社業界を構造化しMECEに動向を捉える ・ 総括 - 次回に向けて	課 自社業界に関係する変化動向の情報収集 個社別コーチング	集合研修 (御茶ノ水リラシティOrオンライン) [AM] ポストコロナの不確実性 洞察 変化動向の「インパクト」を 見定める 変化動向を「不確実度」で 峻別する コロナで加速したトレンド、 発生したトレンド、定着する トレンドを判断する 自社業界にとって、未来を 占う分水嶺は何か [PM] ポストコロナの業界シナリオ 不確実性をもとに未来シナリオ構築 自社業界の未来を構造的 にパターン認識する 自社はどのパターンを見ている。 ろ 一	課 追加リサーチと未来シナリオの精緻化 (オンライン) 個社別コーチング	集合研修 (御茶ノ水リラシティOrオンライン) [AM] ・ 未来年表とEWS*導出 - バックキャストとフォーキャストを連結し、洞察互のたポストコロナの業界は至る時理する - 未来年表から、チェックすべきEWSを見定め、起こりうる時期とチェック方法をリスト化する [PM] ・ アクションプラン導出 - 中長期的に、自社が強化・継続・中止すべきアクションは何か - 今後1年間のアクションプラン構築 ・ 講演(管野誠二氏) - ビジネスに変革を迫る「新常態」 - 既存事業の成長と新事業創出を両立する ・ 総括 - 次回に向けて	アクションプラン実践とFWS ウォッチ	集合研修 (御茶ノ水ソラシティorオンライン) 【PMのみ】 ・ 未来シナリオの途中検証 と修正 - EWSのチェック - 未来シナリオの修正 - アクションプランの修正 ・ 今後のアクションプラン発表 - これから中長期的に自社、自分が取り組むこと - これから短期に自社、自分が取り組むこと	各社毎の戦略コーチング継続も可能 (Option)

※: Early Warning Signs (早期警戒兆候)の略。自社戦略のあり方を左右する大きな外部環境変化について、その予兆となる変化動向を指す

経団連事業サービス 研修グループ 行 FAX:03-6741-0052

E-mail: pco@keidanren-jigyoservice.or.jp

「ポストコロナの未来シナリオと戦略プラン構築」講座

	参加申込書	ΗP
貴社名		
所在地	₸	
ご参加者 ※各社複数名 (最大4名/部署・ 職種は問いません)	部署・役職: ご芳名: E-mail:	TEL:
	部署・役職: ご芳名: E-mail:	TEL:
	部署・役職: ご芳名: E-mail:	TEL:
	部署・役職: ご芳名: E-mail:	TEL:
ご連絡担当者 (請求書送付先)	 部署名: 役職名: ご芳名: E-mail: □今後、セミナー案内等のメール送信を希望しません 	T E L : (ご不要の場合は□ヘチェック願います)
備考		

※ご参加の場合のみ11月9日(月)までに、参加申込書にてお申込みください。

※先着にて4~5社となり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。